

相談員日記

南相馬市健康福祉部
健康づくり課
放射線健康相談員

戸別訪問事業が始まった平成 27 年 9 月から相談員をされている方と平成 30 年 4 月から相談員を始められた方の 2 名にお話を伺いました。

南相馬市では、平成 27 年度より市内外避難者、帰還住民など全世帯を対象に戸別訪問を行っていますが、相談員の経験年数に依らず「いつでも一年生」という気持ちを忘れたことはありません。初めてお会いする方ばかりなので、最初から相手の方に笑顔を見せてもらえることはありませんが、話をしているうちに笑顔を見せて頂けたり、震災から 7 年経っていても見捨てられていないと、訪問を喜ぶ方もいらっしゃいます。

南相馬市で戸別訪問事業が始まった当初は小高区を中心に回っており、当時は切実で即答できないような質問も多かったため、曖昧な回答は避け、持ち帰って検討、伝える、の繰り返しでした。その頃に比べると、現在は生活に密着した身近な話が多いと思います。

放射線については、地元産を避ける方もいらっしゃる一方、家の畑で野菜作りを始めたり、庭の果実を自分で測定所に持ち込んで測る方が昨年は多かったと思います。私たちも放射線健康相談員という立場ではありますが、自宅周辺が山側のため、放射線への心配はありました。しかし、測定した感想を周りから聞いて、家の畑で作り、測定所に持ち込んで測ってみたところ、これなら大丈夫と思えました。



食品の測定が出来ることを知らない方もいるので、自らの体験も踏まえ、測定に行ってみて、とお勧めできるようになりました。
やはり、実際に体験してみることが一番だと思います。